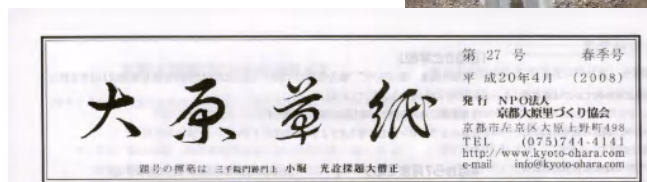


**平成20年度新規課題**  
**「京都の農村景観にマッチした景観花きの品目の提案と実証」**  
**現地試験ほを設置**

花き部では、平成20年度から農村景観形成に花きの導入を提案するため、京都府の草花であるナデシコや球根類のスイセン、ヒガンバナを用い、畦畔<sup>けいはん</sup>における植栽を検討することとしています。

京都市左京区大原地区と亀岡市馬路地区において、ほ場整備終了後の畦畔<sup>けいはん</sup>に現地試験ほを設置し、草刈や除草剤散布の回数を低減しながら京都の景観にマッチした花の咲く畦畔<sup>けいはん</sup>管理の提案と実証を行います。

水稲育苗箱で育成したナデシコ  
を法面に張りつける  
(3月19日、京都市左京区大原)



地元の広報誌に本研究所の取り組みが紹介される